

社会医療法人 壮幸会

行田総合病院



INFORMATION

地域のために。あなたのために。

理念

支える。



地域の声に耳を傾けて。

昭和 63 年、行田市に誕生して以来、
地域との絆を大切に守り、育み、埼玉県北部の人々の健やかな暮らしと、
かけがえのない生命を見守り続けてきました。
その結果、平成 16 年には地域医療支援病院、基幹型臨床研修病院の指定を受け、
平成 17 年には、埼玉県北部最大の病床数を誇る病院へと成長しました。
そして、平成 22 年 3 月には災害拠点病院に指定、
平成 23 年 5 月には社会医療法人となりました。
未来に向けて、真に地域の健康、
地域社会の発展を支える病院であり続けたいと考えます。



【基本理念】

私たち壮幸会グループは
保健・医療・福祉にわたる総合的なサ
ービスの提供を通じて、地域社会に貢献し、
その発展に寄与することを使命とします。
良質かつ安全なサービスを患者さまの視
点に立って提供できるように、日常の業
務に取り組みます。

【運営方針】

1. 地域の医療機関との密接な連携を基に、
信頼される中核医療機関としての地位を
確立します。
2. 最新の医療用機器の導入を図り、医療・
看護・介護の質の向上に向けて研鑽を積
みます。
3. 救急医療、在宅医療にも積極的に取り組
み、地域の人々の安心と幸せの為に全力
を尽くします。
4. 快適な治療環境の整備と患者さま中心の
医療サービスの提供に努め、患者満足度
の向上をはかります。
5. 経営方針に則った業務の遂行に必要な教
育・研修に力を入れ、組織力強化に努め
ます。

○地域医療の高度化を追い求めて。

私たちはこの街に暮らす多くの人々の健
康と生命を守るため、より高度な医療シ
ステムの整備に力を入れ続けてきました。
「あの病院があるから安心だ」と言ってい
ただけるよう、当院の医療人一人一人が
医療に関するスキルと知識の向上に取り
組み、最先端の医療機器を惜しみなく医
療現場に投入し続けてきました。
そして個々の患者さんがお望みになる最
適の医療サービスを提供できるよう努め
てきました。
「この街の人々が安心して暮らせる街へ」
当院は、地域の医療の質を向上させる使
命を担っています。

○地域中核病院としての機能充実を図る。

平成 24 年の増床により、埼玉県北部に
おいて最大級の 504 床というベッド数
を擁するに至りました。
このポジションを担うために必要な、あ
りとあらゆる機能や設備を備え、地域中
核病院に恥じない高度な医療レベルの確
保に真剣に取り組み続けています。
一つに診療科の充実があげられます。小
児科は、地域の方々からの強い要望に応
えて設置しました。さらに地域医療支援
病院、災害拠点病院、がん診療指定病院、
基幹型臨床研修病院の指定を受け、機能
の強化を図っています。また外部からの
評価を真摯に受け止めるため病院機能評
価も受審しています。

○地域医療連携の推進。

開院以来、地域医療に重点を置き、地域
の医療機関、診療所をバックアップでき
る体制を整備してきました。
いつでも、どのような患者さんでも受入
れることのできる 24 時間 365 日の救
急体制の充実に力を入れてきました。
また、地域医療連携室を設け、地域医療
の連携について、広く地域の医療に携わ
る人々や住民の皆さまの理解を求める取
り組みをさまざまに展開しています。

○地域に評価され選ばれる病院へ。

常に地域から、また患者さんから評価さ
れ、求められる病院への進化を続けてい
ます。
医師、看護師、その他の医療スタッフ、
職員全員に至るまで、常に新しい「行田
総合病院」を目指して、日々改革・改善
に取り組んでいます。



連携

応える。

地域医療の理想を追って。

地域の医療機関、地域の診療所の医師から求められていること。
そして患者さんから要望されていること。
その一つ一つにきちんと耳を傾け、理解し、
そして丁寧に、迅速に、かつ最大限お応えすること。
それが病診連携の基本であり、
地域医療支援病院である当院の使命であると考えています。

○**地域医療連携への取組みの歴史。**
「地域医療連携」が、まだコトバとして医療界に定着していなかった頃から、何よりも重要な病院の使命は、地域医療への貢献であると考えてきました。そのため24時間365日体制を構築し、常に地域の医療機関、診療所からの要請に応えられる体制を整備してきました。

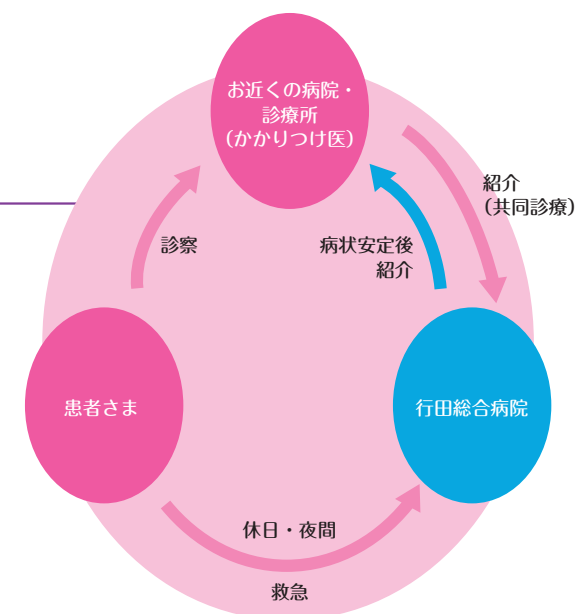
○**地域医療支援病院の承認。**
20年近くに渡る地域医療連携への取り組みが認められ、平成16年に「地域医療支援病院」として埼玉県知事より承認されました。
地域医療支援病院とは、地域の開業医などから、入院・手術などの専門的な医療や、詳しい検査が必要と判断された患者さまを受入れ、適切かつ高度な医療を提供することを目的とした病院です。
地域医療に携わる人々と手を繋ぎ、地域の方々が安心して医療を受けることができる、より良い医療環境づくりを心がけています。
また、こうした活動を通じて、地域全体の医療の質の向上を目指すことが、地域医療支援病院に課せられた使命であると考えています。

○**地域医療機関との連携促進。**
地域医療支援病院の基本は、まず最初に患者さまと接することになる、地域のかかりつけ医との絆を深めること。そのために地域医療連携室が活発に活動しています。また、当院にはかかりつけ医と共同診療するための「開放型病床」、CTやMRIなどの高度医療機器を共同利用する仕組みが整備されています。
今後も埼玉県北部という地域の風土や環境にもっともふさわしい機能、スタイルを持った地域医療連携を、皆さまと共に力を合わせて実現していきます。

○**がん診療指定病院の承認。**
現在、がん診療において、地域間・施設間の格差なく、誰もが最善の医療が受けられるよう、国をあげての対応が進められています。これを受け、埼玉県は優れたがん医療機能を備えた医療機関の整備を進めており、平成22年に当院の確かな医療機能が認められ「埼玉県がん診療指定病院」に指定されました。



地域医療連携概念図





急性期・救急

守る。

地域の皆さまの生命と健康を。

地域の皆さまが病に倒れた時、あるいは不慮の事故に遭われた時。私たちは、皆さまやご家族のかけがえのない生命を守る信頼のよりどころでありたいと思います。そのために、私たちは行田総合病院を「急性期医療」を担う病院と位置づけ、そのためにできることのすべてに取り組んでいます。

○災害拠点病院の指定。

災害拠点病院は、1995年に発生した阪神・淡路大震災の教訓を生かして整備されました。災害対策基本法に基づいて都道府県知事が指定する病院で、地域の他の医療機関を支援する第一線の病院です。当院は埼玉県北部の地域中核病院として、大規模災害時への対応も視野に入れてきました。敷地内にヘリポートを設置し、ドクターヘリの受入れも可能としました。運営体制や施設・設備についても準備を整え、院内での様々な訓練も重ね、平成22年3月、埼玉県知事より「災害拠点病院」として指定を受けました。

○DMATの結成。

DMATとは、大規模な災害や事故の発生時に出勤し、救急治療を行うための専門的な訓練を受けた災害派遣医療チームです。1チーム4名（医師1名、看護師2名、業務調整員1名）の編成を標準としています。当院は平成24年11月に行われた研修を受け、日本DMAT隊員養成研修修了施設に認定されました。同時に埼玉DMATの運営にも協力し、埼玉DMAT指定病院にも認定されています。また、埼玉県特別機動援助隊SMARTにも登録しています。

○急性期医療のさらなる充実を。

埼玉県北部の医療の未来を考えた時、私たちに与えられた選択肢は、急性期病院としての充実を図ることでした。病床数504床の多くを急性期医療へ当て、320列エリアディテクターCTの導入を始め、80列・64列マルチスライスCT、1.5テスラMRI、血管連続撮影装置、ダ・ヴィンチなど最新の医療機器はもちろん、より効率的な医療サービスを実現するためにクリティカルパスの策定や電子カルテも導入しています。

○救急搬送困難事案受入病院の承認

「救急車で重症の場合は2回以上、それ以外の場合は6回以上病院に受入照会をしても受入れに至らない場合」、または「現場到着から30分以上経過した場合」に適用される救急搬送困難事案。これに対応する受入病院（埼玉県内12病院。県北地域では当院のみ）として、平成28年4月に埼玉県より指定を受けました。



選ばれる。

病院機能

地域に根ざし、信頼される。

地域に根ざし、地域に信頼される病院へ。
私たちは力の限りを尽くします。
そのすべては、
患者さんの視点に立ち、患者さんの満足を目指すものです。
また、広く公平な観点から、
「選ばれる」病院への進化を遂げます。

○基幹型臨床研修指定病院。

医学部を卒業して国家試験の合格者には、
臨床現場での前期・後期の研修が義務づけられています。この研修医を受入れる
病院が、臨床研修指定病院です。

○日本医療機能評価機構認定病院。

財団法人日本医療機能評価機構が、病院
運営について、客観的に評価し、正しい
運営が行われていると認めた場合に、認
定を受けることができます。認定は5年
ごとに見直され、審査は厳しくなるため、
一度認定を受けた病院は、常に病院運営
を改善し続けなければなりません。

○DPC 対象病院。

DPC は入院患者さんの病名とその症状・
治療行為を基に厚生労働省が定めた新し
い計算方式です。単に支払い方式の改革
だけでなく、良質な医療、効率的・効果
的な医療、医療の透明化等を図ります。

○7対1看護体制。

看護職員配置基準では、入院患者さん
にとって手厚い「7対1看護」を取得して
います。また、急性期看護補助体制加算
も取得し、看護職員をサポートするスタッ
プも十分に配置されています。このゆと
りある看護体制により、安心・安全で質
の高い医療・看護の提供を行っています。

○電子カルテシステムの導入。

業務の効率化を推進し、患者さまの待ち
時間を削減するため、カルテをコンピュー
タ上で編集・管理し、データベース化し
ています。

○内視鏡センター稼働開始。

平成26年5月から稼働している内視鏡
センターでは、確かな技術を持った消化
器内科の医師が中心となり、最新の内視
鏡システムを使って診断と治療を行って
います。緊急内視鏡に対応できる体制で
地域医療に貢献しています。

○手術支援ロボット『ダ・ヴィンチ』導入。

平成29年5月から泌尿器科にて前立腺
癌摘出・腎癌の一部摘出・膀胱癌の摘出
手術にて稼働しています。令和元年6月
からは外科も直腸癌・胃癌の摘出手術を
行っています。令和4年には最新機種で
ある『Xi』を導入しました。





受け継ぐ。

沿革・概要

患者さんの苦しい時間、辛い時間を共に過ごし、その痛みを和らげ、再びいつもの生活に戻れるよう、最善の努力を尽くす。それが私たちに与えられた使命です。その使命を全うすることが、誇りでもあります。使命と誇りを、次代へと受け継ぎ、より健やかな地域社会を実現させるために、私たちは今日も歩み続けます。

【概要】

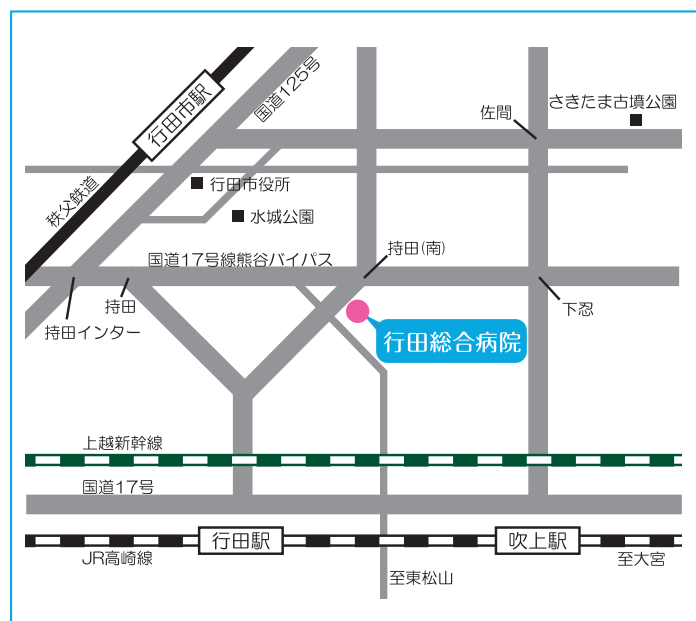
設立	1988（昭和 63）年 12 月
所在地	〒 361-0056 埼玉県行田市持田 376
電話	048-552-1111
各種指定	地域医療支援病院 災害拠点病院 がん診療指定病院 基幹型臨床研修病院 埼玉県救急搬送困難事案受入病院 埼玉県急性期脳卒中治療ネットワーク基幹病院 埼玉県大動脈緊急症治療ネットワーク連携病院 二次救急指定病院 開放型病院 他
学会認定	日本内科学会教育関連病院、日本整形外科学会認定専門医研修施設、日本麻酔科学会認定施設、日本外科学会認定施設、日本消化器外科学会関連施設、日本消化器病学会関連施設、日本消化器内視鏡学会指導施設、日本循環器学会研修関連施設、日本心血管インターベンション治療学会研修関連施設、日本泌尿器科学会認定専門医教育施設、日本がん治療認定医機構認定研修施設、日本救急医学会認定施設、日本腎臓学会研修施設、日本高血圧学会認定施設、日本透析医学会教育関連施設、日本急性血液浄化学会指定施設、日本アフエレスス学会認定施設、日本東洋医学会認定施設、日本静脈経腸栄養学会認定 NST 稼働施設 他
各種基準	一般病棟入院基本料（7:1） 地域医療支援病院入院診療加算 急性期看護補助体制加算 救急医療管理加算 回復期リハビリテーション病棟入院料 臨床研修病院入院診療加算 脳血管疾患等リハビリテーション料 運動器リハビリテーション料 呼吸器リハビリテーション料 医療安全対策加算 医療機器安全管理料 地域連携診療計画管理料 救急搬送患者地域連携受入加算 救急搬送患者地域連携紹介加算 地域連携診療計画退院指導料 他
病床数	504 床

【診療科目】

内科、循環器内科、消化器内科、消化器外科、呼吸器内科、腎臓内科、神経内科、リウマチ科、外科、肛門外科、整形外科、脳神経外科、血管外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、小児科、麻酔科、放射線科、病理診断科、リハビリテーション科
■脳ドック ■人間ドック ■企業・一般健診 ■人工透析 ■乳がん検診

【沿革】

昭和 63 年 12 月	社幸会行田病院として内科・外科・整形外科・リハビリテーション科を標榜し、120 床で開設
平成 2 年 1 月	医療法人に移行
平成 7 年 8 月	24 時間保育所を開設
平成 9 年 11 月	下忍に介護老人保健施設ハートフル行田を開設
平成 10 年 4 月	行田市在宅介護支援センター社幸会を開設
平成 10 年 7 月	社幸会行田訪問看護ステーションを開設
平成 10 年 12 月	皮膚科開設
平成 11 年 7 月	泌尿器科開設
平成 11 年 8 月	行田市在宅介護支援センター社幸会が居宅介護支援事業所の指定を受ける
平成 11 年 11 月	人工透析センター・耳鼻咽喉科・眼科を開設
平成 11 年 12 月	訪問介護ステーション社幸会を開設
平成 12 年 4 月	病院群輪審判による二次救急病院の指定を受ける
平成 12 年 8 月	急性期病院の申請が受理される
平成 12 年 9 月	脳神経外科を開設
平成 13 年 4 月	第 3 手術室完成、麻酔科を標榜
平成 14 年 4 月	地域医療整備計画による増床、開設許可 278 床承認
平成 14 年 12 月	人工透析センター増床 20 台体制となる
平成 15 年 4 月	眼科部門の拡充、各種手術体制の整備
平成 15 年 6 月	日本病院機能評価機構 Ver.3.1 を認定
平成 15 年 10 月	埼玉県健康福祉部採択、130 床増床（総病床数 408 床）
平成 16 年 4 月	小児科を開設
平成 16 年 10 月	厚生労働省より臨床研修病院（管理型）指定
平成 16 年 11 月	埼玉県知事より地域医療支援病院承認
平成 17 年 8 月	増改築工事竣工、救急医療センター開設
平成 17 年 9 月	総病床数 408 床となる
平成 19 年 1 月	厚生労働省より地域がん診療連携拠点病院指定
平成 20 年 3 月	心臓カテーテル検査を開始
平成 20 年 3 月	96 床増床許可、総病床数 504 床へ
平成 20 年 6 月	日本病院機能評価機構 Ver.5.0 を認定
平成 21 年 4 月	複合型介護保険施設心春（こはる）を開設
平成 21 年 9 月	ドクターヘリ就航
平成 22 年 3 月	埼玉県知事より災害拠点病院指定
平成 22 年 4 月	埼玉県知事よりがん診療指定病院指定
平成 22 年 5 月	7 対 1 看護基準取得
平成 22 年 6 月	クリニックにて通所リハビリテーション開設
平成 22 年 8 月	320 列 ADCT 導入
平成 22 年 12 月	NST（栄養サポートチーム）加算
平成 23 年 1 月	新南病棟増築工事着工
平成 23 年 5 月	社会医療法人に移行
平成 24 年 2 月	新南病棟竣工・開棟、総病床数 504 床となる / 駐車場拡大整備、駐車可能数 1,000 台となる
平成 24 年 5 月	病棟再編成、11 病棟 亜急性期病棟開設
平成 24 年 10 月	透析センター移転、拡充
平成 24 年 11 月	日本 DMAT 隊員養成研修修了施設認定 / 埼玉 DMAT 指定 / 埼玉県特別機動援助隊 SMART 登録
平成 25 年 1 月	透析センター夜間透析再開
平成 25 年 2 月	下肢静脈瘤治療用血管内レーザー治療装置導入
平成 25 年 6 月	日本医療機能評価機構 3rdG:Ver1.0 を認定
平成 25 年 9 月	24 時間保育所新築移転
平成 25 年 10 月	自動再来受付機・診察案内表示板・会計案内表示板・自動精算機稼動開始
平成 26 年 5 月	内視鏡センター新増設
平成 26 年 9 月	新南病棟増築工事着工
平成 26 年 12 月	病理検査室新増設
平成 27 年 1 月	太陽光発電導入
平成 27 年 4 月	訪問リハビリテーション開始
平成 27 年 10 月	新南病棟増設開棟
平成 28 年 4 月	社会福祉法人特別養護老人ホーム雅を開設 / 埼玉県救急搬送困難事案受入病院に指定
平成 28 年 6 月	駐車場拡大整備、駐車可能数 1,200 台となる
平成 29 年 4 月	手術支援ロボット『ダ・ヴィンチ』導入。泌尿器科前立腺癌からロボット支援手術開始
平成 30 年 5 月	血管撮影室増設、血管連続撮影装置導入
平成 30 年 7 月	手術室拡張（全 5 室）
平成 30 年 12 月	日本医療機能評価機構 3rdG:Ver2.0 を認定
令和 1 年 6 月	外科直腸癌ロボット支援手術開始
令和 1 年 9 月	循環器内科カテーテルアブレーション治療開始
令和 2 年 5 月	PCR 検査機器・抗原検査機器・パルス方式キセノン紫外線 UV 照射ロボット・陰圧装置・自動検温システム導入
令和 2 年 9 月	救急棟増築工事着工
令和 2 年 10 月	新型コロナウイルス専用入院仮設医療施設開棟 /64 列 MSCT 導入
令和 3 年 2 月	新型コロナウイルス専用入院仮設医療施設増床 / 新型コロナワクチン接種対応開始
令和 3 年 3 月	手術用高精細顕微鏡導入 / 放射線機器のアップデート等施行
令和 3 年 9 月	救急棟増設開棟 / 血管撮影装置増設導入
令和 3 年 11 月	埼玉県急性期脳卒中治療ネットワーク（SSN）基幹病院に指定
令和 3 年 12 月	病院・クリニック間に横断歩道設置 / 外科胃癌ロボット支援手術開始
令和 4 年 1 月	新南棟 血管撮影室拡張
令和 4 年 3 月	西棟 検査課・薬剤課拡張
令和 4 年 4 月	院内 Free Wi-Fi 運用開始
令和 4 年 9 月	手術支援用ロボット『ダ・ヴィンチ Xi』導入。
令和 4 年 10 月	埼玉県大動脈緊急症治療ネットワーク（SAN）連携病院に指定



ACCESS

- JR高崎線行田駅からタクシー約5分
- JR高崎線吹上駅からタクシー約5分
- 秩父鉄道行田市駅からタクシー約5分
- 東北自動車道羽生ICから約30分
- 東北自動車道加須ICから約35分
- 関越自動車道花園ICから約40分
- 関越自動車道東松山ICから約30分

【関連施設】

介護老人保健施設ハートフル行田

〒361-0037 行田市下忍 1157-1
TEL.048-554-9700

行田市在宅介護支援センター壮幸会

〒361-0037 行田市下忍 1162-14
TEL.048-552-0888

行田市地域包括支援センター壮幸会

〒361-0037 行田市下忍 1162-14
TEL.048-552-1123

壮幸会行田訪問看護ステーション

〒361-0056 行田市持田 393-3
TEL.048-552-0165

訪問介護ステーション壮幸会

〒361-0037 行田市下忍 1162-14
TEL.048-552-1118

壮幸会介護保険施設 心春(こはる)

〒361-0056 行田市持田 2426
TEL.048-552-1800

社会福祉法人壮幸会 特別養護老人ホーム 雅

〒361-0056 行田市持田 2424
TEL.048-545-1100

社会医療法人 壮幸会
行田総合病院

〒361-0056 埼玉県行田市持田 376 TEL.048-552-1111

<http://www.gyoda-hp.or.jp>